

松崎工芸 株式会社

新規製品の製造受注への対応とオリジナル商品の開発

これまで培ってきたレベルの高い木工技術と、工場の移転に伴って拡大したスペースを活用し、新たな製品製造の受注に対応できる機械設備を導入した。また、導入する設備をオリジナル商品の開発にも活用して、業容の拡大を推進する。

■ 代表者	松崎 英樹	■ 所在地	〒627-0141 京都府京丹後市弥栄町黒部805
■ 設立	平成28年10月3日	■ TEL/FAX	TEL. 0772-65-8058 / FAX. 0772-65-8057
■ 資本金	8,000千円	■ URL	https://k-matsuzaki.com
■ 従業員数	13人	■ E-mail	matuzakikougei@blue.plala.or.jp
■ 業 種	木材・木製品製造業	■ 得意分野	木製照明器具・木製ノベルティ・木製玩具・木製納棺品等の製造

目的、取組のきっかけ

◆ 背景

昨今の木工業界は、度重なる価格競争によって厳しい単価設定で受注する状況に追い込まれ、さらには後継者不足もあって廃業する事業所が増えている状況です。このような状況下で、比較的若い世代で経営する当事業所には、これまでの主要製品である照明器具だけでなく、木製品を扱う様々な業者からの問い合わせを多くいただいています。

しかし、従来の工場では手狭となり、これまで以上の増産が不可能となり、移転して生産スペースを確保して対応することにしました。

また、自社オリジナル製品の開発にも力を入れており、すでに新製品を試作しました。これらの量産体制と顧客ニーズを満足させる設備投資も必要となりました。

◆ 技術的課題

木製什器を製造するには、現状の設備だけでは製造できず、仕上げ塗装も塗装ブースの設備がなく、外注依存により、受注量をさばくことができない状況でした。

オリジナル商品を開発するための丸加工ができる設備がなく、現状の主力製品である照明器具においても、受注増加に対応できない状況となっていました。

まさに生産能力アップを図るタイミングであり、これまで考えていた将来の売上目標2億円を達成するため、人・設備・場所の再構築が必要でした。

取組内容

◆ 取り組み内容

木製什器の製造には、ベニヤ板、合板などの材料を使用しますが、これらを正確な寸法で切断するにはパネルソーを使用します。また、什器の脚や木製ビール瓶（納棺品）等の円形加工、あるいはオリジナル製品開発に必要な木材の丸棒状切削・掘削加工には木工旋盤を使います。これらの機械を使用する際は、切断・切削時に発生する屑を集めるバグフィルター

（集塵機）が必要になります。

また、塗装ブースを導入することにより、仕上げ塗装まで当事業所内で完了することが可能となります。

照明器具の受注量は増加しており、それに対応するため、ダブルソーを増設します。この機械は照明器具製造において欠かせない「トメ加工」を行う機械であり、稼働率も高く、複数台保有することにより、後工程もスムーズになり、作業効率も格段に向上します。

最近では、営業に力を入れており、受注量が増加してきています。また塗装ブースを持つ、一貫製造の木工所は少なく、



集塵機



塗装ブース

企業概要



工場の外観

現事業主の祖父が昭和48年に松崎木工所として建具屋を創業し、昭和52年に現事業主の父が木製照明器具製造を始める事となり松崎工芸が立ち上がりました。高度の木工加工技術を保有していることを強みとして、主に木製照明器具を各照明メーカーからの受注生産をしています。その他オリジナル製品も多くあります。

主要製品

木製照明器具（和室用等）・家具（机・椅子等）の製造、木工旋盤による加工、木材をカットして数百種類のパーツに加工。やすり等の工程も機械による自動化を進めています。オリジナル製品（雑貨）開発も行っています。



当社のノベルティ製品



組立て机・椅子



宣伝用ポスター

主要取引先

主要取引は各照明メーカー、各商社です。

主な保有設備

NC ルーター、大型ワイドサンダー、モルダー、木工旋盤、パネルソー、ダブルソー、塗装ブース、集塵機、レーザー加工機他



NC ルーター



大型ワイドサンダー

当事業所は木工専門工場としては大型です。

技術力については、精密で複雑なものの製造ができるようになり、依頼を受けた木工加工でできないものはほぼなくなりました。

展示商談会には積極的に参加し、大阪・東京での販路開拓をするとともに地元の仲間とのコラボ出展や住民と一緒にになった木工教室などの地域貢献も大事にしています。こうした活動は地元紙にも度々掲載されています。

成果と今後の展開

◆ 導入後の成果

導入するパネルソーや木工旋盤を活用し、コンパネ、合板など正確にカットし、丸加工技術を取得し、高品質で複雑な木製什器を製造して、新規受注に対応しました。

塗装ブース・バグフィルター・ダブルソーを導入し、木製什器を自社内一貫製造、及び生産能力向上により既存製品の受注増加と新規受注に対応することができました。

工場移転に伴う拡大されたスペースを活用し、導入設備のバグフィルター、塗装ブース及び同時購入の木工旋盤、パネルソー、ダブルソーについては順調に稼働しており、木製什器・木製玩具・納棺品等の市場ニーズに対応し、受注量増大にも寄与しています。

具体的には、木製什器やノベルティの製造は大手メーカーからの受注が増加しており、全国に販路を持ち、関西エリアの店舗型什器の受注があります。これまでの照明器具で培ったノウハウを活かした高品質な製品を製造し、また生産効率向上により納期対応するとともにコストダウンにもつなげています。

またオリジナル製品の納棺品販売先である葬儀会社からこのアイデアを高く評価され、製品化しました。

生活用品の顧客ニーズも多くあり、製品化しています。例えば木のカップを孫の保育園の入園祝いに名前入り（レーザー加工）での注文などです。

◆ これからの取組・見通し

製品の売上ウェイトは、照明器具を50%になるぐらいに

その他のノベルティ製品を伸ばし、来年は逆転を目指しています。

また、自社のm-Kinoブランド（商標登録済）を活用して、直接販売を進め、将来は3本柱（照明器具、什器・ノベルティ、新分野）へと革新していきます。

幸いにも現在の工場は、バグフィルターのさらに大型のものが必要となるぐらいに工場はフル稼働しています。

将来的な売上目標の2億円を達成するために、体制づくりとして、部署の責任意識・社員教育、コスト軽減、福利面の充実を図ります。



工場内作業風景



直販コーナー